



1. はじめに

3学期も残りわずかとなりました。1学年2学年3学年は今年度最後の定期考査を迎えます。今一度、これまでの学習実績を振り返り、今後の評定平均を意識して、より高い学習結果を残してほしいと思います。進学のおすすめ入試では、上級学校の定める評定値が設定されている場合がありますが、校内で競合している場合、校内選考が実施され、評定平均が高いほうが有利となります。就職では、評定平均で入社後の

勤勉性を推測されることがあります。皆さんの進路第一希望実現のためにも考査対策を抜かりなく進めてください。

2. 新年度に向けての教育活動の改善

(1) インターンシップ

令和8年度より、インターンシップ実施の日程が年間行事計画の中の3日間のみに固定されます。具体的な実施日は令和8年6月17日(水)、18日(木)、19日(金)です。

これまで、6月と11月に、企業が希望・指定する3日間で実施してまいりました。しかし、近年、インターンシップを希望する生徒が急増し、職員配置をはじめとした運営面、公欠措置による授業内容の補填など、問題点が散見されるようになりました。3年前頃までは、インターンシップを希望する生徒は5名程度でしたが、ここ数年間は30人弱となっています。

他校の状況を見てみると、全日制では固定の3日間、定時制では夏休み期間がほとんどどのようです。ただし、他の定時制では在籍生徒の規模が小さく、インターンシップに参加する生徒が1~2名程度のように、以上のことから本校では、全日制高校に合わせる形での実施に踏み切りました。

新たな運営方針により、これまでご縁があった企業にご協力をいただけなくなることも予想されますが、今後とも本校進路指導部の企画・運営にご理解をいただけると幸いです。

(2) 受験申請書改定(進学)

令和8年度より全ての受験区分で申請書が必要となります。

これまで、受験を希望する場合は、学校長の推薦を必要とする「学校推薦」「指定校推薦」希望者のみ書面で受験申請をしていました。令和8年度からは、先述以外の「総合型選抜」「一般受験」等でも書面での申請が必要となります。理由は、併願など、出願時の問題を未然に防ぐた

めに、生徒、保護者、担任、進路指導部の点検を重ねて実施するためです。

生徒の皆さんが主に関係するのは4学年時です。その際説明がある時には、記入方法や提出時期などしっかりと理解を深め、書面を家庭に持ち帰った時に、保護者に説明できるようにしてください。

3. 「第3回新規高等学校卒業生就職対策連絡会議」情報

ハローワーク飯田橋から提供いただいた就職関係の情報についてお知らせします。

(1) 令和8年卒業予定者の12月末における「求人」「求職」「内定率」

①飯田橋管内

| | 求人 | 求職者 | 内定率 |
|----------|-------|-----|------|
| 令和8年卒業予定 | 15529 | 73 | 63.0 |
| 令和7年卒業 | 14985 | 88 | 70.5 |
| 令和6年卒業 | 12500 | 104 | 70.2 |

②東京都全体

| | 求人 | 求職者 | 内定率 |
|----------|-------|------|------|
| 令和8年卒業予定 | 61509 | 3982 | 81.0 |
| 令和7年卒業 | 59436 | 3948 | 81.8 |
| 令和6年卒業 | 53298 | 4115 | 82.6 |

左記のデータは、12月時点のデータですのでご注意ください。

令和7年卒業の3月末のデータでは、就職内定率が、飯田橋管内で97.3、東京都全体で99.4となっています。



(2) 新規高卒就職者の離職率について

①高卒求人で、3年以内の離職率37.9%(全国) 1年以内13.3%(東京)

②離職率の高い職業

1位 飲食サービス業、宿泊業 2位 生活関連サービス業、娯楽業

3位 教育、学習支援業

上記以外の業種を含め、離職の1番の理由は「仕事が合わない」とのことです。よって、就職希望者は、企業を選ぶ際に、求人票の分析など企業研究を徹底する必要があります。

(3) 若年正社員の採用選考にあたり重視した点

1位 職業意識・勤労意欲・チャレンジ精神

2位 コミュニケーション能力

3位 マナー・社会常識

4. 3学年タイムライン

令和8年2月5日に洋服の青山 千石駅前店から講師をお招きしてスーツ着こなし講習を実施

しました。身だしなみを整えて進路活動に臨みましょう。



5. 4学年から下級生へのメッセージ

■東京造形大学 美術学科 絵画専攻領域 総合型選抜 合格

4年間やってきたデッサン、作品制作、人との会話、すべてが大切になってきます。どんな気持ちで、なぜそれを制作したのか日頃考えているだけで全然違います。とにかく、自分の気持ちのメモをとっておきましょう。好きなものがあれば、それがどうして、何が好きなのか、考えるだけで面接が楽になると思います。あとは「これが自分だ！」と自信をもつことが何よりも大事！がんばってください♪

■東京造形大学 造形学部デザイン学科グラフィックデザイン専攻領域 総合型選抜 合格

ポートフォリオは早めに作ったほうが良いです！ポートフォリオ 50～60 ページを早めに作り、夏休み前に造形大のオープンキャンパス、説明会で先生に見てもらおうと良いと思います。また、その他3枚の文書作成があると思いますが「興味をそそられる文」というのが重要なので、しっかり家族や先生に見てもらったほうが良いと思います。私は出版社のバイトという他の人が体験していないことを入れたので、そのことをたくさん質問されました。プレゼンテーションは突っ込みどころを用意して、それに対するアンサーも用意しておく、自分に有利な会話になると思います。

■東京工芸大学 芸術学部デザイン学科 総合型選抜 合格

オープンキャンパスでの個別相談をすればするほど本当に有利だと思います。今回私を担当して下さった面接官の方が個別相談でお話した方でリラックスして受けられました。作品も自分が自信ある作品を持って行ってプレゼンする気持ちでやれば多分大丈夫だと思います。体感5分くらいでした。頑張ってください！

■女子美術大学 芸術学部美術学科国際芸術文化専攻 総合型選抜 合格

オープンキャンパスなどで顔を覚えてもらおうと良いと予備校で言われたのでたくさん参加していろいろ質問してください。大学の先生に、スライドはシンプルにして話に集中してもらおうようにし、声を大きくして発表内容を重視することと言われました。面接時にポートフォリオを出したほうが良いと言われましたが当日触れられませんでした。今回は聞かれませんでした。最近どこの展覧会に行ったか、良かったところ、作品をどこで見たかを聞かれるかもしれないです。

■千葉工業大学 情報変革科学部認知情報科学科 専門高校推薦 合格

入試前日は必ず寝てください。志望動機などは必ず聞かれるので事前によく考えておいてください。オープンキャンパスには必ず参加し、研究室などよく見ておくが良いと思います。マイナス（短所など）を話すときは、それに対する工夫などを言えると良いです。面接は優しい雰囲気でした。どうしても予想できない質問がくる可能性があるので面接練習はたくさんしてください。アドリブの練習にもなると思います。学長メッセージや学科のページなど

よく読んでおいてください。ものづくりの意欲、実績などを伝えられるといいと思います。読解力テストの過去問はHPにあります。落ち着いてやればそこまで難しくないとと思います。

■東洋大学 第2部日本文学文化学科 公募推薦 合格

小論文はとにかく最後まで書く。それが一番気を付けることです。あとは、練習の成果を出せば大丈夫。面接は、めっちゃ想定外なこと聞かれます。一般的な質問よりも、その分野（自分が学習したい分野）についての質問を練習しておくの良いかもしれません。

■桑沢デザイン研究所 総合デザイン科 指定校推薦 合格

受験当日の持ち込み作品は学校の課題のもので良いし、新しく制作したものでもいいですが、自分の渾身の作品とか、自分ならではの作品を持っていくと良いと思います。説明は簡潔に伝えたいことをあらかじめ伝えられるようにしておくが良いです。面接自体はそこまで堅苦しい感じではありません。

■桑沢デザイン研究所 専攻デザイン科ビジュアルデザイン専攻 指定校推薦 合格

面接の時間は15分前後。他の人は志望動機から学生生活でしてみたいことのような質問までしっかりと答えていたし、ポートフォリオも全部しっかりと説明していた。礼儀と柔軟性があれば何とでもなると思います。面接練習では、ポートフォリオをどう説明するかを順序だてて、時間を計ってみるのがお勧めです。好きなデザイナーさんを見つけて、深堀してみると具体的に自分がどうなりたいかはっきりしてくると思います。

■阿佐ヶ谷美術専門学校 デザイン学科視覚デザインコース 公募推薦 合格

面接官の対応にもよりますが、進学後や卒業後などの具体的な堅苦しいような質問はそれほどないので安心して気軽に話してみてください！受験当日の持参作品についての説明や質問が多い印象なので、趣味で制作しているものや自分をアピールできる作品があればぜひ自信をもって紹介をしてください。

■阿佐ヶ谷美術専門学校 コンテンツ学科キャラクターデザインコース 指定校推薦 合格

長所を探す中で、短所の見方を変え、良い方向にもっていく。声は大きくゆっくりとしゃべって、間をあげないようにすること。できればiPadなどに自分の作品をまとめ、持ち込んだほうが相手にどう工夫して作成したか伝わりやすい。結論を最初に提示すること。

